

判の公正さ

:

明:

なぜ 判の日があるのか、そしてイスラ ム以外の宗教の 末はどうなるのか、という についての 考
察。

目: [事来世 死 の世界への旅立ち](#)

より: ロ レンス ブラウン、医学博士

日 7 Jan 2011

集日 29 Jul 2012



「よい第一印象を残すチャンスは、二度と巡って来ない。」（古い）

真の信仰は、来世において われます。不信仰もまた われますが、ただ彼らはそれを望みません。全ての 言者一人一人のメッセ ジもまた、そのことを示していました。

私たちは、来世をいかに正当化することが出来るでしょうか？ というか、もし来世でそう出来なければ、この人生における不正はいかに修正されるのでしょうか？ もしこれらの「不正」が来世にて 切な と によって埋め合わされないのであれば、私たちがこの 世において不正であると感じていることは、公正さに する神的意味についての 印象となってしまいます。これ以上ない位の最 な者でも、最高に素晴らしい人生を享受するかもしれません。しかしその一方、これ以上ない位の善人が酷い苦 に遭遇す

ることもあります。例えば、な人生を ごした 言者など存在したでしょうか？ また今の代のそれであれ、あるいは当 のものであれ、マフィアのボスや麻 王、 制君主らのそれに相当するような豪華な生活に甘んじた 言者など、かつて存在したでしょうか？ もし私たちの 造主の慈悲と公正さを信 するならば、神がこの 世における敬虔さの と、罪の刑 を制限することなど信じられないことです。そうだとしたら、この人生の不公平さは明白だからです。

だから、 判の日は起きるのです。私たちは全 そこに集います。そしてその は、自らの人生をよい方向に えようとすることを考え始めるには、都合の い となります。というのも一言で言えば、私たちの人生は わってしまっているからです。もう ぎるのです。今や私たちの行いの は、 わろうとしているのです。もう る はありません。

人 は、信仰と行いによって分 されます。信仰者は され、不信仰者は有罪の判 を下されるのです。そして罪人はもし赦されなければ、その罪の重さに じて されることとなります。

ユダヤ教徒は、彼らが「民」として生まれながら天国に入ることを宣言し、キリスト教徒は「完璧ではなくとも、赦される」と主 し、ムスリムは 造主への服 した状 で死ぬ者は皆 罪の 象となると信じています。そしてその 代の 示と 言者に う者は成功者となり、その 代の 示と 言者を拒否した者は、自らの魂と引き えにそうしたことになるのです。

イスラ ムによると、ユダヤ教徒の信仰者はその に いた 言者（すなわち、バプテスマのヨハネとイエスキリスト）やその教 、及び 示（これはイエスの 合ですが）を拒否するまで、真 と共にありました。この形において、ユダヤ教徒は神自身が条件付けた神への服 に生きていたのではなく、彼ら自身の条件に基づいた神への服 にあったのです。神が、彼らの に入らない 言者や 示を下したり遣わしたりした 、彼らは神の宗教よりは先祖の宗教に留まることを びました。このようにして、彼らは不服 と不信仰へと 行って行ったのです。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/569>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。